

タナカ-P4 Q&A

Q:設計上の注意事項はありますか?

A:溶融亜鉛めっきの設計と同じですのでサイズ・空気孔・吊り位置などにご注意下さい。吊り能力や処理可能サイズが近傍の場合やどうしても超過する設計となってしまう場合は、弊社営業部または品質管理課ご相談下さい。

Q:設置現場で養生材を使いキズなどの発生を防ぎます。注意事項はありますか?

A:りん酸亜鉛処理は亜鉛めっきに結晶を生成させる施工技術のため、他品との接触などで結晶の欠損や欠落で跡やキズが発生します。養生材や緩衝材の採用をお勧めしますが、雨濡れしますと、覆われた製品内部で乾燥が悪い状態となり、激しい白錆が発生します。養生材や緩衝材は必要時のみご使用されますことをお願い致します。

Q:雨濡れは問題ありませんか?

A:できるだけ施工初期は雨濡れを避けて頂くようお願い致します。弊社から製品引取の際は必ずシートなどで養生し運送中の雨濡れを防いで下さい。万一、雨濡れした場合は、ウエス等で優しく水分を吸い取り、乾いた環境や立て掛けて出来るだけ早く乾燥する処置を取って下さい。

Q:モルタルの接触は大丈夫ですか?

A:りん酸亜鉛の表面はモルタル水などの接触は含有物質の析出による汚れや、アルカリ性による亜鉛への溶解作用が働き白さびの発生が起こります。慎重に養生を行いモルタルの施工をする必要があります。

Q:施工現場で使用する補修剤はありますか?

A:弊社では専用の補修剤を用意しておりますが、全く同じ色になるものではありません。ご必要でありましたら弊社営業担当者にご相談下さい。

Q:ボルトやナットなどの施工は可能ですか?

A:他社での溶融亜鉛めっき品となりますボルトなどの製品群は、最終工程で油分や有機系の処理剤を使用していることが多くあります。これらの処理剤がりん酸亜鉛の反応を阻害します。補修剤を用いた色合わせをお願いしております。

Q:明度の指定ができますか?

A:できません。りん酸亜鉛の施工は処理液中の成分等により明度が決定します。弊社ではN4±1の範囲でしか施工できません。また、N4±1の範囲以外の明度も施工できません。

Q:明度は一定ですか?

A:製品の鋼材成分や厚み、構造等によるスパンゲルやめっきやけの発生、亜鉛めっきの条件の僅かな変化により溶融亜鉛めっき表面が変化することでりん酸亜鉛の施工後の明度は変化します。常に全く同じ固定の明度を保証することができません。